

会 議 録

会議の名称	令和3年度第1回印西市スポーツ推進審議会会議録
開催日時	令和3年10月4日（月） 14:00～
開催場所	松山下公園総合体育館 多目的室
議長等氏名	渡 正 議長
出席者氏名	大木 栄治（市民公募 ※書面参加） 渡 正（学識経験者） 青柳 豊子（学識経験者） 小暮 文秋（学識経験者） 高梨 峰子（学識経験者） 早野 敏（学識経験者） 谷口 裕代（学識経験者） 岡田 芳一（関係行政機関職員）
欠席者氏名	新納 健也（学識経験者）
事務局	三門 宜典（スポーツ振興課） 須藤 伸治（スポーツ振興課） 五十嵐 儀斉（スポーツ振興課）
ジャパン インターナショナル 総合研究所	山下 淳也 佐藤 晴歌 藤平 颯太 【敬称略】
議 題	(1) 令和3年度スポーツ事業の計画について (2) 印西市スポーツ推進基本計画について (3) その他

発 言 者	発言内容・決定事項等
事務局	<p>1. 開会</p> <p>2. あいさつ スポーツ振興課長 三門宜典</p> <p>3. 議長の選出 渡 正</p> <p>4. 報告事項</p> <p>(1) 令和2年度スポーツ事業の報告について</p> <p>— 事務局説明 —</p> <p>— 質 疑 —</p>
委員	<p>令和2年度はほとんどの事業が新型コロナで中止になっているが、収支差額としてはどれだけの差がありましたか。また、余剰金はどんな使われ方をしましたか。</p>
事務局	<p>余剰金は、直近の議会で減額補正を行い、ほかの事業にも使えるように、市へ帰っております。また、すみませんが、どれくらいの余剰金が発生したのかは、今すぐには数値が出せません。</p>
委員	<p>5. 議題</p> <p>(1) 令和3年度スポーツ事業の計画について</p> <p>— 事務局説明 —</p> <p>— 質 疑 —</p>
委員	<p>資料中にある（ ）内の数値は何を意味しているのでしょうか</p>
事務局	<p>前年度の予算額と比較した数値になります。</p>
委員	<p>スポーツ施設の管理において、現年度と前年度の予算額の差の内訳はそれぞれどのようになっていますか</p>
事務局	<p>陸上競技場の公認のための改修工事が行われた年に当たっており、それに伴って備品の整備が必要でした。そのため、令和2年度は約二千万円の予算が積算されました。しかしながら、今年度においてはそれがなかったため、その差になります。また、令和元年度は「コスモスフットサルパーク」の整備が行われ、予算が積算されておりました。しかし、令和2年度では、それがなかったため、約二億円の差額が生じています。</p>
議長	<p>関連する質問ですが、スポーツ管理の予算五千万円は、施設の維持管理において、十分な金額になっているのでしょうか。</p>

事務局	<p>維持管理においては、改修や維持、清掃など、様々な項目による予算化を執り行っております。そうした面の平均的な金額と考えております。決して大きな金額ではありませんが、予算は状況によっては補正などでの対応も視野に入れて動いていこうと思います。</p> <p>(1) 印西市スポーツ推進基本計画について</p> <p>— 事務局説明 —</p> <p>— 質 疑 —</p>
議長	<p>ありがとうございます。では、質疑応答に入りたいと思います。</p>
委員	<p>P1「この度、組織改編に伴い「スポーツ推進基本計画」として単独で策定することとなりました。」とあるが、前回の「教育振興基本計画」から組織改編という理由だけでスポーツ推進基本計画を独立させて策定しなくてはならなかったというのでは、背景が弱すぎるのではないかと感じます。なぜ必要なのか、説明をしていただきたい。それを納得した上でこの計画の議論に入っていきべきではないかと思います。もう一点、前回の教育振興基本計画で色々な施策を策定したかと思いますが、それらの評価はどうだったのか、良かったものは継続していけばいいが、悪かったものに関して今回は理由を明確にし、反映するべきかと思います。</p>
議長	<p>ありがとうございます。スポーツ推進基本計画策定の根拠については事務局から説明していただく必要があるかと思います。前回の計画からの事業評価の部分に関しては、アンケート結果から見えてくる部分があれば次回でも構いませんので、ご説明をいただきたいと思います。一般的な課題として見えるものではなく、これまでの事業の計画との兼ね合いでお伝えできることがあれば、教えていただきたいと思います。まず、計画策定の根拠について、事務局からお願いいたします。</p>
事務局	<p>組織改編が理由での計画策定では理由が弱いとのご指摘をいただきましたが、前の計画に対するPDCAサイクルの結果などを入れ、しっかりした計画にしていくことが必要かと思っております。現行の教育振興基本計画を策定する前にスポーツ推進基本計画が独立していたことはあり、他の文や計画と一体化していたという経緯があります。それを今回の改編で元に戻すというようなところもあり、ご指摘の通り、理由としては弱い部分もあるかと思っておりますので、しっかりとした根拠をお示しする必要があるのかとは思っております。</p>
委員	<p>例えば国の方針を反映し、今回は新たな基本計画を策定する必要があったというような内容であれば違うのではないかと思います。考えていただきたいと思います。</p>
議長	<p>基本計画の策定理由に関連することで何かございますか。やはりこの計画について、何ができるのか、課題は何かなどの背景と趣旨について、市民の皆さんに独立し</p>

<p>事務局（委託業者）</p>	<p>た計画が必要なのだということがご納得いただけるような文章を検討していただきたいと思います。先ほどご質問のありました課題について、現時点でお伝えできることがあればジャパンインターナショナルさんから教えていただきたいと思います。</p> <p>課題のまとめをさせていただいた中で、前回の教育振興基本計画の事業がどこまで進んでいるかが反映されていないということは、ご指摘をいただいた通りかだと思います。現行の教育振興基本計画ではスポーツの分野で目標指標が「市民スポーツ大会参加者数」「スポーツフェス・スポーツ教室参加者数」「スポーツ団体(体育協会・スポーツ少年団)加入者数」「スポーツ施設利用者数」「スポーツ指導者数」と5つ設定されております。これらの目標が令和2年度でどの程度達成できているのかを計画に盛り込んでいければ、5年後に数値目標が達成できているかを評価する上でも指標は大事なところかと思しますので、これを盛り込んで計画の推進を図っていきたいと思います。今後、事務局（市）とも協議していきたいと思います。ご指摘ありがとうございました。</p>
<p>議長</p>	<p>他に何かございますか。</p>
<p>委員</p>	<p>P 2 9 ②「新しい生活様式に対応したスポーツ活動の継続」について、新型コロナウイルスについて書かれています。新型コロナウイルスの影響でスポーツ活動も制約を受けていて残念な部分がありますが、サラリーマンは在宅勤務で仕事をする人が増えているので、自分の持ち時間が自由に使えるようになっていないかとも思います。個人でスポーツをする機会、家族とスポーツをする機会が増えているのではないのでしょうか。この文章の中では色々な機会が減っているということだけが書かれているが、両親が在宅勤務をしていることにより、子供とスポーツをする機会は増えているなど、ネガティブではなく、ポジティブな内容にしてもいいのではないかと感じました。</p>
<p>議長</p>	<p>チャンスということで何ができるか、ポジティブな部分も入れるといいのではないかというご意見をいただきました。事務局の方と相談しながら、今後どのような事業が展開できるかということをご検討いただければと思います。課題という部分なので、多少ネガティブな内容になるのは仕方がないとは思いますが。他にございますか。</p>
<p>委員</p>	<p>P 1 9 「地域におけるスポーツの大会や行事に参加したことがありますか。」について、参加しなかった理由について「行事等の開催を知らなかった。」という回答が一番多かったのがショックだったのですが、「知らない」を「知る」に変えるために何かできる事はないのでしょうか。1年間の行事予定を冊子にし、各家庭にお配りするなど、知る機会を与えてあげなければと今までと同じではないかと思えます。若い世代は忙しくなかなか予定が立たないかもしれませんが、年間予定を見れる事で</p>

	<p>参加できるものが出てくるのではないかと思います。</p>
議長	<p>今後スポーツ推進をしていく上で、広報やプロモーションをどのように考えていくかという事かと思えます。今後我々の検討の中でも、重視していかななくてはいけない点かと思えます。</p>
委員	<p>今のご意見はとてもいいご意見だと思えました。今は携帯で何でもすぐに調べられる時代です。フェイスブックやインスタグラムなどのSNSを活用が周知に一番早いのではないかと思います。</p>
事務局	<p>本日欠席の委員よりご意見をいただいているのでご報告いたします。まず、計画の中で元号と西暦の使い分けができていないのではないかとご指摘がありました。西暦表記と元号表記の区別はあるのですが、統一できるように骨子案作成の際に検討させていただきます。また、「一人一人」と「一人ひとり」が混在しているので、「一人ひとり」に統一するのがいいのではないかとのご意見をいただきました。こちらも検討させていただきます。P30案2「Sport in life! 生涯スポーツみんな生きいき いんざい」について、生涯という文言が、文章ではわかるのですが、表現として、「障害」と「生涯」が混同されるのではないかと懸念する、とのご意見をいただきました。また、ひらがななどの表記の統一ができていないというご指摘がありました。これも骨子案作成の際に検討させていただきます。</p>
議長	<p>元号、西暦表記についてはどちらがわかりやすいかということもあるかと思えます。ご検討をお願いいたします。他にございますか。</p>
事務局	<p>P30「基本理念」P31、32「基本目標」「計画の体系」について、それぞれ案を提示させていただいております。よろしければ、この場で精査をしていただきたいと思えます。「計画の体系」については事務局と検討した結果、P32「国・県の計画を踏まえた体系組み替え案」の方が計画の方向性が定まりやすいのではないかと考えておりますが、その点を含めまして、皆さんでどちらがいいかをご審議いただきたいと思えます。まずは「基本理念」の方からお願いいたします。</p>
議長	<p>基本理念は案1・2のどちらかを選ぶということでしょうか。</p>
事務局	<p>前回計画時の基本理念も含め、3つの案から1つ選んでいただきたいと思えます。</p>
委員	<p>案1・2を作った背景を教えてください。あと現行計画の基本理念については、踏襲したほうがいいという理由も教えてください。</p>
事務局	<p>現行計画の踏襲について、計画の基本理念はあまり変えるものではないという視点も大切ではないかと考えております。それを踏まえ、現行の基本理念は「スポーツ</p>

わいわい みんな生きいき いんざい元気」とテーマが韻を踏んでいて語呂もよく、キャッチーであるのと、内容としてもスポーツを通じて皆さんが生きいきと元気に暮らしていくという意味合いもいいと思うので、印西市のスポーツの施策を進めていく上では10年以上変わらずこのスタンスでいくという踏襲という形も良いのではないかと考えております。案1「みんなが元気 ずっとスポーツを楽しめるまち いんざい」について、市の上位計画である総合計画のスポーツの分野の「目指す姿」が「子どもから高齢者まで市民一人ひとりが、生涯にわたってスポーツやレクリエーション活動を楽しめるまちを目指します」となっております。総合計画が市の上位計画と見ると、スポーツ施策に準じてこのスポーツ推進基本計画も一体として進めていくという意味もあり、フレーズを一部引用し、案1としました。案2「Sport in life! 生涯スポーツみんな生きいき いんざい」について、国が現在第3期計画を策定中で、スポーツ庁の長官から次の計画に盛り込むべき内容として示されたのがP5「第3期スポーツ基本計画(国)に盛り込むべき内容(令和3年4月21日諮問)」となっております。この中で「Sport in life」という言葉があるのですが、これはスポーツ庁が推進しているプロジェクトとで内容としては「スポーツを行うことが生活習慣の一部になってひとりでも多くの方がスポーツに親しむ社会を実現する。」となっており、国の計画に習って、引用しました。先ほど生涯スポーツという表現にご指摘をいただいたので検討が必要ですが、生涯スポーツという単語自体はもともとあり、生涯を通じて健康維持や生きがいづくりをスポーツを通して行うという意味合いとなっているが、検討は必要かと思えます。今回基本理念を決めていただきたいのですが、これらはあくまで案ですので、今後の視点も踏まえてご意見をいただければと思います。よろしく願いいたします。

議長

決めるにあたっての方法などは事務局としてありますか。組み替えてとのお話もあったので、どう決めるかが悩ましいかと思えます。

事務局

基本理念については今、説明のあった通りです。課内でも検討させていただきましたが、これは、という決まったものはない状況なので、皆さんがお集まりいただいた時にそこで生まれるものがあればと思っておりました。組み合わせた形でも構いませんので、ご意見をいただければと思います。

議長

それらを踏まえて、皆さんいかがでしょうか。

事務局

補足ですが、基本計画にとっての基本理念の位置付けの認識を皆さんと共有できればと思っております。

事務局（委託業者）

基本理念は次のページの計画の体系の一番上に来る、いわばキャッチフレーズのようなものになりますので、計画の体系の中にながちりと紐づくというよりは、スローガンのような意味合いで捉えていただければいいのではないかと考えております。

議長	<p>す。</p> <p>踏襲したものは先ほど説明にあったように、韻を踏んでいてキャッチーである。案1は「まち」という言葉があるのでまちの姿を想像させる。案2は印西市に住む人、個人がどのような状態なのか。というのが私の個人的なイメージです。結局はどれがいいかということになるかと思いますが、これは挙手をしていただき多数決で決めるということでもいいのでしょうか。</p>
事務局	<p>なかなか決まりづらいということであるかと思います。先ほど申し上げた通り、キャッチフレーズということになりますので、意義がなければ挙手による多数決で決定するということがよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>スポーツは我々にとって日常生活に必要なだと思いますが、スポーツだけが重要なのではなく、スポーツを行うことによって、健康で楽しく、日常生活が有意義なものになるというストーリーが見えます。スポーツありきではないと思います。案1は「ずっとスポーツを楽しめるまち」これは意味が深いので、それが理解できればいいのですが、スポーツだけに特化しすぎている気がします。案2は「生涯スポーツ」で若い人からお年寄りまでずっとスポーツを楽しめるチャンスを作り、いきいきと生きてもらうんだというストーリーが見えます。さらにこの基本理念となった経緯を説明する際に、国からの第3期スポーツ基本計画国に盛り込むべき内容の中の「Sport in life」のキャッチフレーズが良いと思い付け加えたということがきるのかと思う。従って、私は案2がいいかと思います。</p>
議長	<p>ありがとうございます。皆さん色々な思いがあると思います。私もここで決めるとは思っていなかったものでどうしたものかと思っていますところです。</p>
委員	<p>個人的には「楽しめる」ということが大切かと思っていますので、案1がいいのではないかと思います。「楽しむ」というのは、プレーヤーとして楽しむ、指導者の立場として楽しむ、直接運動はできないがボランティアなどの運営側として楽しむ、観て楽しむなど、色々あると思います。「楽しめる」というキーワードが入っているということと、全て日本語だというのがわかりやすいのではないかと思います。</p>
委員	<p>私もこの3つの中であれば、案1がいいのではないかと思います。コロナ禍の前まではスポーツをみんなで賑やかに楽しむという雰囲気だったのかと思いますが、今は、一人ひとり自分なりにスポーツを楽しむようになってきているように思います。できれば総合振興計画の基本理念の「みんな生き生き」という言葉と案1の「みんなが元気 ずっとスポーツを楽しめるまち いんざい」を合わせるといいのではないかと思います。いかがでしょうか。</p>
委員	<p>私は案1と案2を合わせるのが双方の良さを取るという意味でもいいのではない</p>

	<p>かと思えます。案2「Sport in life」は国が出したキャッチフレーズであり、誰もが知っていていいのではないかと思います。他の委員がおっしゃったように「スポーツを楽しめるまち」という言葉の中には、指導者、ボランティア、観るといようにたくさんの意味があるのでいいのではないかと思います。合体をさせて新しい文章を作ってみるといのも1つの案なのではないでしょうか。</p>
議長	<p>ありがとうございます。案2の「Sport in life」と案1の「ずっとスポーツを楽しめるまち いんざい」を合体させるのはどうかというご意見でした。</p>
委員	<p>国は国で大きな計画であり、「Sport in life」はインパクトのあるフレーズではあると思うが、印西市独自の地域性を含めた基本理念を作りたいという気持ちもあります。ご意見のあったように、合わせていいものができるのではないかと思います。若い人はスポーツを楽しんでいるが、高齢化が進むと高齢者のスポーツとしてはやるだけではなく、先ほどご意見のあったように観るスポーツなど色々とあるのかと思う。それらを通してそれが医療費の削減などにつながったり、色々なことにつながると思います。現状はコロナ禍ということで厳しい部分もありますが、今後はさらに長生き世代になっていくのかと思います。競技スポーツだけでなく、スポーツに携わっている人は多いので、それも含め印西市独自の基本理念を作るのはいかがでしょうか。</p>
委員	<p>「Sport in life」は少し違うのではないかと感じていました。案1と案2を合体させるという案はいいのではないかと思います。</p>
委員	<p>もう1点付け加えると、「Sport in life! ずっとスポーツ楽しむ みんな生きいき」をいうのがいいのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>色々なご意見の中で、スポーツありきではないかというご意見があったかと思えます。市としては、教育部から健康子ども部への組織改編があり、スポーツありきではないという考え方の中での推進を行っている状況でもあるため、スポーツで健康を維持しようという目標に変わってきている部分もあるので、総合計画の「目指す姿」から引用している案1がいいのではないかと思います。案2も当てはまる部分があるので悩ましいところでもあります。スポーツありきではなく、健康も大切だというキャッチフレーズが理想なのではないかと思います。</p>
委員	<p>最後に「みんな生きいき」という言葉をつければ包含されるのではないかと思います。</p>
議長	<p>今日ここで決めるのではなく、先送りしていくつか案をいただき、次の会議で決めるということも可能ですか。</p>

事務局	<p>今、皆さんにご意見をいただいた内容で、事務局と協議した上で次回報告させていただきたいと思えます。皆さんのご意見を取り入れさせていただき、組み替えた形でのご提示になるかと思えますので、それをご確認いただくということをお願いいたします。</p>
議長	<p>基本理念についてはもう少し検討していただくという形にさせていただくということで、お願いいたします。次にもう1つ決めなければいけない計画の体系について、いかがでしょうか。P32に項目を「スポーツ参画人口と拡大と人材育成」「スポーツ環境の整備」「スポーツを通じた共生社会の実現と地域の活性化」「スポーツ推進体制の整備」の4つに整理されたものがありますが、事務局としては何か方針や、こちらのほうがいいなどのご意見はありますでしょうか。</p>
事務局	<p>課内で検討を行ったところ、国・県の計画を踏まえているP32の方が支持が多くありました。多岐にわたる分野を網羅できているという印象があるため、事務局としてはP32の方を推したいと思っております。健康づくりにも触れていますし、市民ぐるみで進めていく計画の取り組みも表現できており、現行の計画から外れているものでもないかと思えます。皆さんからの意義がなければこちらで進めさせていただければと思っております。いかがでしょうか。</p>
議長	<p>細かい内容や文言は検討していくとして、大枠としてこのような枠組みで整理していきたいということではよろしいですか。ということでただいま事務局の方から健康のためという意味も踏まえ、整理した形としてP32の4項目の方がわかりやすいのではないかといいましたが、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>「特色あるスポーツ事業の展開」ということで、クライミングやパークゴルフは大人向けのスポーツであり、子ども向けのスポーツが含まれておらず、偏りを感じます。子ども向けにも行われている体操なども特色あるスポーツに入れられないかと思いました。</p>
議長	<p>特色あるスポーツ事業の展開についてはP32の方でも1(6)として書き込んでいく、他の委員がおっしゃったような様々なことがそこに入るようご検討いただく、ということではよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>現行の計画体系を踏襲します、とあるが、現行計画の解析をすることで優先順位も変わってくるのではないのでしょうか。特色あるスポーツ事業の展開が2番目に必要なのかもわからない。印西市としては何が一番問題なのか、それが計画の中の順番になるのではないかと思えます。まず、それを明確にさせていただきたい。今後さらに練っていくのかと思えますが、特色あるスポーツ事業の展開はたまたまその2つが書いてあるだけであって、実際はもっとあるはずで、(1)～(5)の内容は、前回の計画の評価によって重点的に注力する順番が変わってくるのではないかと思いま</p>

議長	<p>す。また、短期でやる内容と長期でやる内容が複雑に絡んでいるので、それらもこの中に含まれているとすると、言葉が変わってくると思います。ただ羅列しているのではなく、文言から読み取れる内容が見えてくるのではないのでしょうか。従って現行の教育振興基本計画の解析がとても重要なのではないかと思います。</p>
事務局	<p>P 3 1 「現行計画体系踏襲案」は見出しも同じですか。</p>
議長	<p>はい。</p> <p>わかりました。各委員から色々ご意見をいただきましたが、「現行計画体系踏襲案」は枠組みとして具体的なトピックをかなり押し出していると感じるので、動かさざるを得ないのではないかと思います。例えば、特色ある事業は2つだけなのか、特色ある事業とはそもそも何か、などの議論が始まってしまうかと思うので、事務局としては、「国・県の計画を踏まえた体系組み替え案」の1「スポーツ参画人口の拡大と人材育成」など、特色ある取り組みを盛り込めるように枠組みを一般的な「人口」「人材育成」という言葉で表現したと理解していますが、よろしいのでしょうか。そうであれば、基本的な枠組みは1～4で設定していただき、他の委員のご意見にもあったように、内容や見出しの順番、課題の出し方については、前回の計画からの流れや補足点、重視したい点を踏まえた枠組みを検討していただき、重要なのは、人材、環境、社会、行政の仕組みの4点だというP 3 2の方向性で決めていただくということではないかと思いますが、いかがでしょうか。よろしければ、P 3 2をそのままという形ではなく、検討を含め進めていただきたいと思います。よろしく願いいたします。他にご質問などありますでしょうか。なければ全ての議題についての質疑を終了させていただき、進行を事務局にお返しいたします。</p>
事務局	<p>渡委員、ありがとうございます。また、各委員の皆さんご審議ありがとうございました。5その他について、事務局からお願いいたします。</p>
事務局	<p>6. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次期会議日は令和3年11月25日（木）に設定（後日、正式に通知） ・報酬の振込口座の変更の有無について ・会議録の内容確認の署名を小暮委員と谷口委員に依頼。 <p>7. 閉会</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

上記は「令和3年度第1回印西市スポーツ推進審議会」における審議内容及び結果であることを認める。

令和3年11月11日

スポーツ推進審議会委員 小暮 文秋

スポーツ推進審議会委員 谷口 裕代